

令和7年度 SSH 事業 探究科学科2年生未来創造 RAP 応用 B (課題研究)

校内発表会実施要項

1. 主 題 課題研究の研究方針と研究内容を発表し、課題研究の方向性を再確認する場とする。
2. 目 的
 - ・研究成果をまとめ主体的に他者に発表することで、論理性をもった科学的思考および表現を行う力を養う。(主体性・科学的思考力・表現力)
 - ・他者と協働しながら研究成果をまとめ、研究過程を共有することで、協働して研究に取り組む態度を養う。(協働力・共有力・自己肯定感)
3. 日時・会場 令和7年 12月 17日(水) 8:50~14:10 (1~5限) 記念館ホール
4. 発表者 11R:40名、12R:23名 合計 15班
5. 司会・進行 探究科学科1年生 (司会 2名、質問マイク係 2名を各Rより選出、公欠扱い)
6. 参加者 探究科学科1年生 56名(21R1.2限、22R3.4限聴講)、探究科学科2年生 63名
7. 教職員参加者 作野教頭・岩田主幹教諭・教育開発部長(勝部)・RAP 応用担当(山本)
11R 担任(辻)、12R 担任(山田)
各班担当者
(白本、志儀、市本、土谷、福間、北村、椿、遠山、竹崎、嶽野、森脇、梶谷、村上)
21R 副担任(松本)・22R 副担任(松平)※各 R 聴講時
教育開発部、コンソーシアムマネージャー
8. 審査員 島根大学副学長(先端マテリアル研究開発協創機構長) 三浦 英生 氏
島根大学生物資源科学部 教授 山本 達之 氏
島根大学数理・データサイエンス教育研究センター 助教 瀬戸 和希 氏
島根県立大学人間文化学部地域文化学科 助教 岩本 晃典 氏
松江南高校 教頭 作野 健一、主幹教諭 岩田 史樹

9.評価基準・表彰

- 1) 評価方法 次の6項目の視点を中心に大学及び本校の教員による講評を行う。(県大会出場 改)

課題研究に関する活動評価基準 (島根県理数科研究発表の評価基準)	
I. 主体的な課題設定で、課題研究に相応しいものか。	
① 課題の設定理由(内容)が明確であるか。	
② 課題研究に相応しい仮説の設定であるか。	
II. 研究内容が充実し、その研究方法が適切に計画されているか。	
③ 研究に創意工夫が見られ、意欲的・計画的な取り組みがなされているか。	
④ 問題解決のための実験・観察・調査の方法を創意工夫し、適切に取り組もうとしているか。	
⑤ 場面に応じて、必要な知識や情報を選択・収集し、効果的にそれを活用しようとしているか。	
III. データサイエンス(追加、松江南高校独自の項目)	
⑥ 研究内容に則して、適切なグラフを用いて説明をしているか。	

2) 表彰

- ・審査員は会議によって最優秀賞（1チーム）、優秀賞（理数研究2、それ以外の研究2）を決定。
- ・「理数研究」とは内容が「数学、情報、物理、化学、生物、地学」に関する研究とし、これら以外の内容の研究を「それ以外の研究」とする。
- ・理数研究の優秀賞2チームは、R8年3月に開催される「島根県理数科課題研究発表会」に出場。2月5日(木)の松江南高校生徒成果発表会で発表。
- ・それ以外の研究の優秀賞2チームは、R8年2月10日(火)に開催される「しまね探究フェスタ」に出場。2月5日(木)の松江南高校生徒成果発表会で発表。
- ・最優秀賞に選出されたチームは、R8年8月上旬に開催されるSSH生徒成果発表会に出場。2月5日(木)の松江南高校生徒成果発表会で発表。

10. 発表形式 Google スライドを用いた口頭発表

11. 時程 発表 8分(7分で予鈴) + 質疑応答 3分 + 移動 1分(調整) = 計12分 ◎担当

8:50~9:00	開会式・校長あいさつ	1限	21R 聴講
9:00~9:12	発表1 生物化学班『葉の抗菌作用について』◎北村		
9:12~9:24	発表2 生物②班『シオグサの有効活用』◎遠山		
9:24~9:36	発表3 人文班 『「空気を読む」行動の具体的な意味とコツの解明』◎白本		
9:36~9:50	休憩		
9:50~10:02	発表4 生物①班『メダカの可聴域』◎椿	2限	
10:02~10:14	発表5 地学班 『ミミズが生分解性プラスチックを分解することができるのか』◎辻		
10:14~10:26	発表6 生活班 『身近な成分を使っていろいろな服の汚れを落とそう!!』◎森脇		
10:26~10:38	発表7 国際班『戦争プロパガンダが人々に与える影響とは』◎岩田		
10:38~10:50	休憩		
10:50~11:02	発表8 物理①班『より心地よい音色を求めて』◎土谷	3限	22R 聴講
11:02~11:14	発表9 物理②班『マグヌス力による軌道の変化』◎福間		
11:14~11:26	発表10 情報班 『テキストマイニングを用いた合格体験記の分析』◎市本		
11:26~11:38	発表11 ビジネス班『松江市での観光による持続可能な街創り』◎志儀		
11:38~11:50	休憩		
11:50~12:02	発表12 化学班『葉草のもつ収斂作用の比較』◎山本	4限	
12:02~12:14	発表13 数学班『暖かさの指数からみた地球温暖化がバイオームに与える影響の検証』◎竹崎		
12:14~12:26	発表14 スポーツ班 『スポーツを本質的に楽しむ効果とその方法』◎嶽野		
12:26~12:38	発表15 教育班 『日本と韓国の英語力の差』◎岩田		
12:38~13:20	昼休憩 (審査)		
13:20~13:50	講評	5限	
13:50~14:00	結果発表・表彰		
14:00~14:10	アンケート・片付け		